

- 1 製品について 2 ページ
- Q1-1 どのようなシステムを使うのか
 - Q1-2 どのような仕組みなのか
 - Q1-3 来場者カウントのほかに、どのような機能があるのか
- 2 来場者登録、カウント方法について 3 ページ
- Q2-1 入場カウントはどのようにするのか（主催者）
 - Q2-2 入場カウントはどのようにするのか（出展者）
 - Q2-3 今回、会場が3か所に分散となる。水道展来場者のカウント単位はどうなるのか
 - Q2-4 バッジはどのような運用になるのか
 - Q2-5 全国会議登録者と水道展に来場する一般入場者の登録方法は違うのか
 - Q2-6 事前登録をしていない方が来場した場合はどのようにするのか
 - Q2-7 ライセンスとかスマホとか、イマイチイメージが繋がらないのだが
 - Q2-8 ブースでのバーコード読み取りは、どのような方法が効率的・効果的と思われるか
- 3 来場者情報の管理、利用について 5 ページ
- Q3-1 出展者は来場者情報をどのように管理するのか
 - Q3-2 来場者データはいつまで閲覧できるのか
- 4 端末、ライセンスについて 6 ページ
- Q4-1 水道展期間中、端末などの管理はどのようになるのか
 - Q4-2 スマホのバッテリーは一日持つのか
 - Q4-3 ライセンスの使いまわしや1つのライセンスを2台のスマホで使うなどはできるのか
 - Q4-4 1台（セット）は出展料に含まれるが、追加したい場合はどうするのか
 - Q4-5 共同出展だが別々に来場者を管理したい。この場合はどのようにするのか
 - Q4-6 開催中に使い始めて台数が足りない、となった場合追加はできるのか
 - Q4-7 レンタルしたスマホ等をなくした場合や破損した場合は賠償する必要があるか
 - Q4-8 レンタルスマホはいわゆるスマホだから、LINEとかブラウザ閲覧とかできるのか
- 5 経費について 【料金表】 8 ページ
- Q5-1 1台貸与となるが、ほかに経費はかからないのか
 - Q5-2 追加オプションはいくらか
 - Q5-3 オプションの申込や費用の支払いはどのようになるのか
- 6 その他 9 ページ
- Q6-1 個人情報の取り扱いはどのようになっているのか
 - Q6-2 会期中にわからないことが出てきたらどうなるのか
 - Q6-3 うちのブースでは使いたくないのだが

1 製品について

Q1-1 どのようなシステムを使うのか

A1-1 株式会社テクサー社の AiMeet（アイミート）というシステムツールを導入します。

Q1-2 どのような仕組みなのか

A1-2 テクサー社の HP、製品説明をご参照ください。なお、今回は来場者に事前登録を行っていただき、来場者をカウントする機能を利用することが主としています。

Q1-3 来場者カウントのほかに、どのような機能があるのか

A1-3 出展者が提供する資料を来場者にデータで提供するなどの機能がありますが、詳しくはテクサー社の HP、製品説明をご参照ください。

2 来場者登録、カウント方法について

Q2-1 入場カウントはどのようにするのか（主催者）

A2-1 事前登録された来場者が携帯している来場者証（バッジ）の二次元バーコード（QRコード）を読み取ることでカウントします。

主催者は会場入口にて、専用リーダー（入退場スキャナ=AiScanner）を利用します。

Q2-2 入場カウントはどのようにするのか（出展者）

A2-2 事前登録された来場者が携帯している来場者証（バッジ）の二次元バーコード（QRコード）を読み取ることでカウントします。

出展者には、管理プラットフォームが利用できるライセンス=AiManagerを1つ貸与します。（9月上旬から利用可能）

出展者はスマートフォンにライセンス（スキャナライセンス=ViScanner）を登録し、ブース訪問者の二次元バーコード（QRコード）を読み取ることでカウントします。

神戸水道展では、各ブースに1台ライセンスを登録したスマホを貸与します。これは出展料に含まれます。

Q2-3 今回、会場が3か所に分散となる。水道展来場者のカウント単位はどうなるのか

A2-3 これまでの水道展では、一人一日1回をカウント単位としています。システムを導入すると入場のたびに、また会場も3か所ありますので重複カウントとなります。水道展の来場者のカウントは、これまでのカウント単位（一人一日1回をカウント単位）でデータを整理し集計します。

なお、ブースへの来訪者カウントは1読取り1カウントとなります。例えば同じ人が数回ブースを訪れてリーダーで読み込んだ場合は延べ数のカウントとなりますが、CSVデータで重複確認ができます。

Q2-4 バッジはどのような運用になるのか

A2-4 事業体や企業などが一目でわかるようにするため、属性を色で区分する予定です。

バッジのサイズはA4で4つ折り（A6サイズ）し、会場でお渡しするホルダーに収納し来場いただきます。

そのため、来場者にはカラーでプリントして持ってきていただくことを促していきたいと思えます。

登録してプリントアウトを忘れた場合は、水道展会場でプリントアウトができるようプリンターを設置します。

Q2-5 全国会議登録者と水道展に来場する一般入場者の登録方法は違うのか

A2-5 全国会議参加者は、全国会議参加登録をさせていただく際に水道展入場に関するチェックボックスを設け、全国会議用のバッジで水道展も入場できるようにする予定です。

バッジのデザインは現在検討中ですが、属性の色を同じにすることを検討しています。

入場の際に二次元バーコード（QRコード）を読み取る方式は変わりません。

Q2-6 事前登録をしていない方が来場した場合はどのようにするのか

A2-6 会場入口に登録用二次元バーコード（QRコード）を掲出し、来場者がスマホで読み取りその場で登録を行っていただきバッジをプリントアウトしていただきます。

それが難しい場合は総合案内で対応します。

Q2-7 ライセンスとかスマホとか、イマイチイメージがつかないのだが

A2-7 例えの話ですが、最近居酒屋などでテーブルに二次元バーコード（QRコード）が置いてあり、これを来客が自分のスマホで読み取って注文してください、ということがあるかと思えます。

今回の仕組みはこれと似ていて、スマホにアプリを入れるのではなく、Webでこの仕組みが動いている、というものです。ですので、読取端末のスマホは特定の機種等に制限されずに使うことができます。

Q2-8 ブースでのバーコード読み取りは、どのような方法が効率的・効果的と思われるか

A2-8 受付付近にスマホスタンド（卓上用はレンタルセットに付属）を設置して読取スマホを置き、来場者にバッジをかざしてもらうよう促す方法が効果的かと思えます。しかしながら来場者に声掛けしてお願いすることになりますので、担当者がその場でバッジを読み取るほうが良いかもしれません。この場合は担当者が複数人必要となる場合もありますので、出展者様で運用をご検討ください。

3 来場者情報の管理、利用について

Q3-1 出展者は来場者情報をどのように管理するのか

A3-1 自社のブースを訪れた方のデータは、Web 上のデータをダウンロード（CSV 形式）することで閲覧できますのでご活用いただけます。

Q3-2 来場者データはいつまで閲覧できるのか

A3-2 Web 上にある来場者データのダウンロードは 1 か月、AiManager での情報閲覧も 1 か月となっています。

なお、個人情報管理の観点から AiManager 管理画面上での来場者の個人情報は非開示ですが、ダウンロードすることで来場者が登録した情報（会社名、氏名等）の確認が可能となります。

(参考) AiMager 管理画面

4 端末、ライセンスについて

Q4-1 水道展期間中、端末などの管理はどのようになるのか

A4-1 開催前日に開場に設置するオンサイトサポートデスクで借り受けていただき、最終日に返却いただく方式となります（10月8日～11日）。この間は利用者が保管や充電対応をしていただくこととなります。翌日利用できるよう、必ず充電をしてください。

Q4-2 スマホのバッテリーは一日持つのか

A4-2 スマホ本体、充電器、モバイルバッテリー1つ、スマホスタンドをセットとして貸与します。画面を付けっぱなしでバッテリーは5～6時間は持ちますが、モバイルバッテリーを繋げば1日利用できると思います。

Q4-3 ライセンスの使いまわしや1つのライセンスを2台のスマホで使うなどはできるのか

A4-3 ライセンスは同時に複数台のスマホで利用することはできません。1ライセンス1端末の考え方です。

例えば午前中はAさんの私物スマホでライセンスを使っていて、午後からはBさんが私物スマホを使う、という使い方はできます。この場合はBさんの私物スマホでライセンスを使う設定をした時点でAさんの私物スマホでは読取ができなくなります。

Q4-4 1台（セット）は出展料に含まれるが、追加したい場合はどうするのか

A4-4 7月に予定している出展者説明会資料に申込案内を記載し、オプションとして承ります。その際、出展者ご自身のスマホを利用する場合は、1台につき1ライセンス（スキャナライセンス=ViScanner）が必要です。また、レンタルスマホや登録代行も用意しています。

Q4-5 共同出展だが別々に来場者を管理したい。この場合はどのようにするのか

A4-5 1ブースにつき1管理プラットフォームの運用ですので、プラットフォームを分ける場合は、別途オプションとしてAiManagerをご契約いただきます。

Q4-6 開催中に使い始めて台数が足りない、となった場合追加はできるのか

A4-6 できます。ライセンスだけ、またはレンタルスマホとセットでなど、どちらでも対応できるようにします。会場に設置するオンサイトサポートデスクで承ります。なお、金額は単一価格で会期途中の追加でも日割にはなりませんのでご了承ください。

Q4-7 レンタルしたスマホ等をなくした場合や破損した場合は賠償する必要があるか

A4-7 紛失、破損の場合は利用者に対して10数万円の費用をご負担いただきます。

なお、スマホを紛失した場合、スマホに読み取った来場者情報データ（読取ライセンスViScannerで管理）が残った状態ですと個人情報漏洩の危険性があります。ViScanner上の来場者情報の表示はオン/オフ機能がありますので、紛失に気付いてすぐにオフにすればその時点から個人情報は紛失した機器には表示されません。

金額には個人情報を取り扱う機器を慎重に取り扱うべきという意識を持ってもらうための

費用負担額となっています。

Q4-8 レンタルスマホはいわゆるスマホだから、LINEとかブラウザ閲覧とかできるのか

A4-8 レンタルスマホの Web 通信に係る機能は利用可能ですが、スキャナとしての用途のみでの使用をお願いします。

5 経費について

Q5-1 1台貸与となるが、ほかに経費はかからないのか

A5-1 スマホで読み取った二次元バーコードの情報を処理する料金として、読取1件につき33円（税別）がかかります。

この費用については、神戸水道展終了後に水団連から請求書を発行いたします。

（例えば3日間トータルで延べ1,000件のバッジ情報を読み取ったら33,000円（税別）の情報処理料金の請求となります。）

Q5-2 追加オプションはいくらか

A5-2 読取システム利用ライセンスは1ライセンス12,000円、レンタルスマホ1台18,000円、スマホへの登録代行サービスは1件2,400円（すべて税別）となっています。なお、金額は単一価格で会期中の追加でも日割の取り扱いはありません。

Q5-3 オプションの申込や費用の支払いはどのようになるのか

A5-3 オプションの申し込みは、出展者説明会時にご案内するGoogleフォームで申し込めます。

支払については、全出展者に情報処理料金、オプション申込者にはその分も合わせて請求いたします。

水道展終了後、水団連から請求書を発行しますので、その際指定する期日までに水団連へお支払いいただきます。

【料金表】

（単位：円 税別）

区 分	価格	備 考
情報処理 料金	33	×読取（スキャン）した件数を 請求
追加 オプション ※期間中を 通しての 価格。 日割はあり ません。	<u>読取システム利用ライセンスの追加</u> ViScanner(スキャナライセンス) 1ライセンス	12,000 読み取る（スキャナ）ライセンス を増やしたい場合
	<u>来場者コード読取用デバイス</u> (レンタルスマホセット)	18,000 レンタルスマホセット内訳 (本体1、充電器1、モバイルバッテリー 1、卓上スマホスタンド1、電源コード 1、収納ケース1)
	<u>出展者アカウントの追加</u> AiManager(出展者アカウント) ※ViScanner(スキャナライセンス) 1ライセンス込み	18,000 共同出展でアカウントを分けたい 場合
	製品登録代行サービス	2,400 スマホへのライセンス登録作業

6 その他

Q6-1 個人情報の取り扱いはどのようになっているのか

A6-1 登録参加者に対しては、事前登録の際に個人情報利用、保護に関する項目を設け、承諾をいただくようチェックボックスを設けます。

Q6-2 会期中にわからないことが出てきたらどうなるのか

A6-2 会場にオンサイトサポートデスクを設置しますのでこちらで対応します。

Q6-3 うちのブースでは使いたくないのだが

A6-3 各出展者ブースでの利用は任意です。ただし、代金は出展料に含みますので利用がなくても返金はいたしません。